

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	西部消防署			No.	107
大分類	09行政系施設				
小分類	消防署				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	湯里

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	⑦必要規模建替え	処理完了
『該当する』を 選択した理由	令和2年度に必要規模建替え済み								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	平成30年度より事業に着手し、用地取得、造成工事を実施。令和2年度末に新庁舎が移転新築した。		耐震性の強化や機能強化を図り、活動拠点施設として迅速で円滑な出動体制の確保ができた。
第2期	2024年度		
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和48年
建物延面積	277.06 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	急傾斜地の崩壊警戒区域内に立地、特別警戒区域に隣接

関連条例等	大田市消防本部及び消防署の設置に関する条例
設置(目的等)	この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第10条第1項の規定に基づき、消防本部及び消防署の設置、名称及び位置並びに消防署の管轄区域について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	必要規模建替え済。

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	三瓶出張所			No.	108
大分類	09行政系施設				
小分類	消防署				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由

担当部署名	消防部総務課
ブロック	三瓶
地区	志学

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済	処理完了
『該当する』を 選択した理由	令和元年度に必要規模建替え済み。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	2019年度に庁舎建て替え工事を完了した。		耐震性の強化や機能強化を図り、活動拠点施設として迅速で円滑な出動体制の確保ができた。
第2期	2024年度		
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和47年
建物延面積	180.39 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(基準未滿)
Is値	0.25
摘要欄	

関連条例等	大田市消防本部及び消防署の設置に関する条例
設置(目的等)	この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第10条第1項の規定に基づき、消防本部及び消防署の設置、名称及び位置並びに消防署の管轄区域について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	必要規模建替え済。

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	朝山分団 2 班格納庫			No.	109
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		大田市消防団施設個別施設計画	
有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	東部
地区	朝山

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当する	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	第1班と統合、又は移転単独整備を含め必要規模建替えを検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2032年度に 解体を予定
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2032 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の見直し		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2027年度までに統合又は移転単独整備を含め必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	第1班と統合又は移転単独整備を含め必要規模建替えを検討する。
	2025年度 個別計画の見直し 2028年度までに1・2班の統合、新築工事を検討。 本建物は2032年度に解体予定	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和56年
建物延面積	9.94 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	土石流警戒区域内に立地、急傾斜地の崩壊特別警戒区域に隣接

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	総合的に早急かつ最優先で必要規模での建替えが必要である。ただし、統合など機能集約の検討を行うこととする。

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	波根分団 1 班格納庫		No.	110	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称							
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	東部
地区	波根

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済	処理完了
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。平成28年度、必要規模建替え済み。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								計画期間外
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	2016年度建替え完了		予定どおり完了した。
第2期	2024年度		
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成30年
建物延面積	29.20 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	建替え整備済み。

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	波根分団2班格納庫			No.	111			
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	東部
地区	波根

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	◎現時点で検討不要(将来の検討)	開始前
『該当する』を 選択した理由	2027年度に改修工事を検討している。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2027年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の見直し		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2027年度までに建設地（現地含む）を含めた必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	2027年度に改修工事を検討している。
	2025年度 個別計画の見直し 2027年度までに改修工事を検討する。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和56年
建物延面積	16.10 m ²
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	総合的に早急かつ最優先で必要規模での建替えが必要である。 令和9年度に改修工事を検討している。

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	五十猛分団2班格納庫			No.	112		
大分類	09行政系施設						
小分類	その他						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	消防部総務課
ブロック	西部
地区	五十猛

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当する	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	第4班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討している。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2030 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の見直し		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2027年度までに4班と統合し、建設地を含め必要規模建替えを検討している。	目標未達成（取組中）	2027年度に2班・4班の統合移転新築工事を検討し、本建物については2028年度に解体を検討している。
	2025年度 個別計画の見直し 2027年度に2・4班の統合移転新築工事を検討。（場所検討中） 本建物については2030年度解体を予定。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和60年
建物延面積	11.66 m ²
構造	コンクリートブロック造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー 土石流警戒区域に隣接

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	統合しての整備が必要である。

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	五十猛分団4班格納庫			No.	113			
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	西部
地区	五十猛

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	第2班と統合し、第4班の廃止を検討している。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 令和9年度までに第2班と統合し、第4班の廃止を検討する。	目標未達成（取組中）	2027年度に2班・4班の統合移転新築工事を検討し、本建物については2031年度に解体を検討している。
	2025年度 個別計画の見直し 2027年度に2・4班の統合移転新築工事を検討。（場所検討中） 本建物については2031年度解体を予定。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和55年
建物延面積	12.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	—
摘要欄	レッド

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	統合し廃止する。

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	旧大屋分団 3 班格納庫 (大屋防災資機材庫)			No.	114
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	中央
地区	大屋

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	③地域移管 済	処理完了
『該当する』を 選択した理由	令和5年度中に用途廃止した。その後は総務部総務課の管理となり、地域（大屋まちづくり協議会）へ無償譲渡された。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の見直し		用途廃止済み
第2期	2024年度		
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和53年
建物延面積	17.52 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
ls値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	格納庫へ機能を集約し解体撤去、民間譲渡等とする。

【施設写真】

※写真無し

(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	旧大代分団1班格納庫（大代防災倉庫）			No.	115			
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	消防部総務課
ブロック	高山
地区	大代

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	開始前
『該当する』を 選択した理由	経年劣化により、建物の部材に一部腐食が認められ危険である。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2038年度に 解体を予定
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2038 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度	個別計画の見直し	目標未達成（取組中）
	2025年度	個別計画の見直し 2038年度に解体撤去を予定	目標未達成（取組中）
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和60年
建物延面積	62.20 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	総合的に早急かつ最優先で地権者と協議し、地下防火水槽のあり方について検討する。

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津分団2・3班格納庫			No.	116	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設								
小分類	その他								
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称							
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年	
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	老朽化により建て替えが必要であるが、津波浸水区域であり建設地（現地含む）について検討を要する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2033年度に 解体を予定
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2033年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成		現地建替え、移転単独整備を検討。 庇の爆裂により、緊急修繕実施。
第2期	2024年度 早急な移転新築を検討する。	目標未達成（取組中）	移転場所について検討中。
	2025年度 2030年度温泉津支所の車庫及び倉庫を改修し移転を予定。 本建物にあっては2033年度解体予定。 関係機関との協議、調整を引き続き実施する。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和50年
建物延面積	74.40 m ²
構造	コンクリートブロック造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	浸水地域

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	総合的に早急かつ最優先で必要規模での建替えが必要である。

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津分団4班格納庫			No.	117			
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	◎現時点で検討不要(将来の検討)	合意済
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として継続する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2025年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		現地建替えを検討している。
第2期	2024年度	個別計画の見直し	目標未達成（取組中）
	2025年度	改修工事実施	改修整備設計業務が完了した。
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和50年
建物延面積	74.40 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	総合的に早急かつ最優先で必要規模での建替えが必要である。 令和6年度改修の整備設計を行い、令和7年度に改修予定である。

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	福波分団2班格納庫			No.	118			
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済	処理完了
『該当する』を 選択した理由	2022年度、必要規模建替え済み								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2023 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	新築移転し、2023年度解体済み		
第2期	2024年度		
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和49年
建物延面積	37.20 m ²
構造	コンクリートブロック造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	総合的に早急かつ最優先で必要規模での建替えが必要である。防火水槽が地下にあり、移転単独整備について検討する。

【施設写真】

※写真無し

(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	長久水防倉庫			No.	119	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設								
小分類	その他								
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称							
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年	
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	西部
地区	長久

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止 済	処理完了
『該当する』を 選択した理由	2022年度解体撤去済み								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2022 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	2022年度用途廃止、解体撤去済み		
第2期	2024年度		
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和53年
建物延面積	17.52 m ²
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	消防庁舎へ機能を集約し解体撤去とする。

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田市消防本部・大田消防署			No.	264
大分類	09行政系施設				
小分類	消防署				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	2024	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	消防部総務課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済	開始前
『該当する』を 選択した理由	消防防災拠点施設であり今後も維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況			
第2期	2024年度		
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成26年
建物延面積	3,225.58 m ²
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市消防本部及び消防署の設置に関する条例
設置(目的等)	各種災害から市民の生命、身体及び財産を守ることを目的として設置
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田分団 1 班格納庫		No.	265	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年	
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由				

担当部署名	消防部総務課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	地域の実情を踏まえ、第3班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討を要する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2037年度に 改修を予定
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の見直し		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度	目標未達成（取組中）	2032年度～2036年度に第3班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討している。
	2025年度	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	16.38 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田分団 2 班格納庫			No.	266	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設								
小分類	その他								
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称							
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年	
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								2045年(令和 27年度)まで の計画期間外
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2042年度～2045年度に現地にて必要規模建替えを行う。	目標未達成（取組中）	個別計画の見直し
	2025年度 個別計画の見直し 現地で必要規模の建替えを検討。時期によっては見直しをする。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成14年
建物延面積	28.56 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田分団3班格納庫			No.	267			
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	消防部総務課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	地域の実情を踏まえ、今後第1班と統合し、第3班は廃止を検討している。第1班整備時に併せて検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2041年度に 解体を予定
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2041年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。 大田分団第1班との統合を検討
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2037年度～2041年度に1班と統合し、3班の廃止を検討する。	目標未達成（取組中）	第1班と統合し、第3班と廃止を検討する。
	2025年度 個別計画の見直し 本建物は2041年度に解体を予定。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成6年
建物延面積	15.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	川合分団 1 班格納庫・水防倉庫			No.	268	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設								
小分類	その他								
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称							
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年	
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	第3班と統合し、現地にて必要規模建替えを検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2031 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2037年度～2041年度に3班と統合、現地に必要規模建替えを行う。	目標未達成（取組中）	個別計画の見直し
	2025年度 川合分団第3班と統合を前提に2031年度に本建物を改修予定。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成10年
建物延面積	43.20 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	川合分団 2 班格納庫			No.	269		
大分類	09行政系施設						
小分類	その他						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	消防部総務課
ブロック	中央
地区	川合

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済	処理完了
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								計画期間外
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	2017年度、必要規模建替え済		計画どおり完了した。
第2期	2024年度		
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成30年
建物延面積	10.12 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	川合分団 3 班格納庫			No.	270	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設								
小分類	その他								
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称							
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年	
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	中央
地区	川合

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	第1班と統合し、第3班は廃止を検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								2037年度に 解体を予定
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2037 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2032年度～2036年度に第1班と統合、第3班は廃止を検討する。	目標未達成（取組中）	第1班と統合し、第3班は廃止を検討する。
	2025年度 2031年度に川合分団第1班と統合を検討。 本建物は2037年度に解体する。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成5年
建物延面積	15.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	池田分団 1 班格納庫			No.	271			
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	三瓶
地区	池田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2040~2045年度に必要規模建替え(現地)検討する。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2045 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 令和24年度～令和27年度に必要規模建替え（現地）を検討する。	目標未達成（取組中）	現地建替えを検討する。
	2025年度 個別計画の見直し 2042年度～2045年度に必要規模建替え（現地）を検討する。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成14年
建物延面積	28.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	池田分団 2 班格納庫			No.	272			
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	消防部総務課
ブロック	三瓶
地区	池田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2036年度に 解体を予定
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2036 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2032年度～2036年度に必要規模建替え（現地又は移転単独整備）を検討する。	目標未達成（取組中）	現地建替え又は移転単独整備を検討する。
	2025年度 2031年度に必要規模建替えを予定（移転単独整備を検討） 本建物は2036年度解体を予定。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和60年
建物延面積	15.35 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	志学分団 1 班格納庫			No.	273	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設								
小分類	その他								
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称							
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年	
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	三瓶
地区	志学

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	第2班と統合し、建設地（現地含む）を含め必要規模建替えを検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								計画期間外
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2042年度～2045年度に第2班と統合し、建設地（現地含む）を含めた必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	第2班と統合し、建設地（現地含む）を含めた必要規模建替えを検討する。
	2025年度 個別計画の見直し 2045年度以降に取組み（志学分団第2班と統合を検討） 必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成8年
建物延面積	21.60 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	志学分団 2 班格納庫			No.	274	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設								
小分類	その他								
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称							
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年	
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	三瓶
地区	志学

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	第1班と統合し、第2班は廃止を検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								計画期間外
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2042年度～2045年度に第2班と統合し、建設地（現地含む）を含めた必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	第1班と統合し、第2班は廃止を検討する。
	2025年度 個別計画の見直し 2045年度以降に取組み（志学分団第1班と統合を検討） 本建物は解体を予定	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成17年
建物延面積	13.50 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	山口分団 1 班格納庫		No.	275	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	三瓶
地区	山口

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	第2班と統合又は現地にて必要規模建替えを検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2039年度 に解体を予定
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2039 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応	
これまでの取組状況				
第2期	2024年度			
	2025年度	2036年度、山口分団第2班と統合し必要規模建替えを検討。（ハザードマップレッド区域のため移転）場所は検討中。 本建物は2039年度解体を検討。	目標未達成（取組中）	
	2026年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成19年
建物延面積	26.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	レッド

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	山口分団 2 班格納庫		No.	276	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	三瓶
地区	山口

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	第1班と統合又は移転単独整備を含め必要規模建替えを検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2037年度 に解体を予定
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2037 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2037年度～2041年度に第1班と統合又は移転単独整備を含め必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	第1班と統合又は移転単独整備を検討する。
	2025年度 2036年度、山口分団第1班と統合し必要規模建替えを検討。場所検討中。 本建物は2037年度解体を検討。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成6年
建物延面積	16.20 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	多根分団 1 班格納庫			No.	277	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設								
小分類	その他								
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称							
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年	
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	三瓶
地区	多根

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	第2班と統合し、現地にて必要規模建替えを検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2037年度 に解体を予定
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2037 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2037年度～2041年度に第2班と統合、現地にて必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	屋根部分の塗装要す。
	2025年度 個別計画の見直し 2037年度に第2班と統合し、現地にて建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成7年
建物延面積	21.60 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	多根分団 2 班格納庫			No.	278	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設								
小分類	その他								
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称							
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年	
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	三瓶
地区	多根

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	第1班と統合し、第2班は廃止を検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2041年度 に解体を予定
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2041 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2032年度～2036年度に第1班と統合、第2班は廃止を検討する。	目標未達成（取組中）	計画の見直し。
	2025年度 個別計画の見直し 2037年度に第1班と統合を検討。当建物は2041年度に解体を予定。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成2年
建物延面積	16.38 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	富山分団 1 班格納庫			No.	279			
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	消防部総務課
ブロック	東部
地区	富山

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	第2、3班と統合し、建設地（現地含む）を含め必要規模建替えを検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								計画期間外
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		未定	年度						

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2037年度～2041年度に第2,3班と統合、建設地（現地含む）を含め、必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	第2・3班と統合、建設地（現地含む）を含め、必要規模建替えを検討する。
	2025年度 個別計画の見直し 第2・3班と統合し、建設地を含め必要規模の建替えを検討。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成9年
建物延面積	21.60 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	朝山分団 1 班格納庫			No.	280	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設								
小分類	その他								
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称							
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年	
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	東部
地区	朝山

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	第2班と統合し、建設地（現地含む）を含め必要規模建替えを検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2032 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2027年度までに第2班と統合又は、現地での必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	第2班と統合又、現地での必要規模建替えを検討する。
	2025年度 個別計画の見直し 2028年度に第2班と統合し、建設地を含め、必要規模建て替えを検討。本建物は2032に解体予定	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和63年
建物延面積	15.65 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久手分団 1 班格納庫			No.	281	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設								
小分類	その他								
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称							
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年	
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済	処理完了
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。平成19年度、必要規模建替え済み。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								計画期間外
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	平成19年度、必要規模建替え済		計画どおり完了した。
第2期	2024年度		
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成21年
建物延面積	41.06 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久手分団 2 班格納庫			No.	282			
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	消防部総務課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								2041年度改修 予定
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2041 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2032年度～2036年度に、現地での必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	
	2025年度 2041年度改修予定	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	16.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久手分団 3 班格納庫			No.	283			
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	消防部総務課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								計画期間外
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2042年度～2045年度に、現地での必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	
	2025年度 個別計画の見直し 2045年度以降で現地での必要規模建替えを検討。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成17年
建物延面積	14.85 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久手分団 4 班格納庫			No.	284			
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	期間外	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	消防部総務課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済	処理完了
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								計画期間外
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	平成18年度、必要規模建替え済		計画どおり完了した。
第2期	2024年度		
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成18年
建物延面積	15.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	鳥井分団 1 班格納庫			No.	285			
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由				

担当部署名	消防部総務課
ブロック	西部
地区	鳥井

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								2040年度以降 に現地での必 要規模建替え を検討する。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2042年度～2045年度に、現地での必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	現地での必要規模建替えを検討する。
	2025年度 個別計画の見直し	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成12年
建物延面積	15.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	鳥井分団 2 班格納庫		No.	286
大分類	09行政系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	消防部総務課
ブロック	西部
地区	鳥井

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済	処理完了
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								計画期間外
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	平成30年度、必要規模建替え済		計画どおり完了した。
第2期	2024年度		
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成30年
建物延面積	15.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	長久分団 1 班格納庫		No.	287
大分類	09行政系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	消防部総務課
ブロック	西部
地区	長久

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済	処理完了
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								計画期間外
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	平成18年度、必要規模建替え済		計画どおり完了した。
第2期	2024年度		
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成18年
建物延面積	15.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	長久分団 2 班格納庫		No.	288	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間	2045
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	西部
地区	長久

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								2040年度以降 に現地での必 要規模建替え を検討する。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2042年度～2045年度に、現地での必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	現地での必要規模建替えを検討する。
	2025年度 個別計画の見直し	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成16年
建物延面積	14.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	浸水地域

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	長久分団 3 班格納庫		No.	289
大分類	09行政系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	消防部総務課
ブロック	西部
地区	長久

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済	処理完了
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								計画期間外
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	平成18年度、必要規模建替え済		計画どおり完了した。
第2期	2024年度		
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成19年
建物延面積	28.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	静岡分団 1 班格納庫・水防倉庫			No.	290		
大分類	09行政系施設						
小分類	その他						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	消防部総務課
ブロック	西部
地区	静岡

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2040年度以降 に現地での必 要規模建替え を検討する。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2042年度～2045年度に、現地での必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	現地での必要規模建替えを検討する。
	2025年度 個別計画の見直し	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成15年
建物延面積	48.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	静岡分団 2 班格納庫		No.	291	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間	2045
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	西部
地区	静岡

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2040年度以降 に現地での必 要規模建替え を検討する。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2042年度～2045年度に、現地での必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	現地での必要規模建替えを検討する。
	2025年度 個別計画の見直し	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成16年
建物延面積	12.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	浸水地域

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	静岡分団 3 班格納庫		No.	292
大分類	09行政系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	消防部総務課
ブロック	西部
地区	静岡

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2040年度以降 に現地での必 要規模建替え を検討する。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 令和24年度～令和27年度に、現地での必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	
	2025年度 個別計画の見直し	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成12年
建物延面積	15.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	五十猛分団 1 班格納庫			No.	293			
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	西部
地区	五十猛

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	④統合	調整中
『該当する』を 選択した理由	現地にて必要規模建替えを検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2040年度以降 に現地での必 要規模建替え を検討する。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度				←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2042年度～2045年度に、現地での必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	
	2025年度 個別計画の見直し 2040年度以降に現地での必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成16年
建物延面積	28.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	五十猛分団3 班格納庫			No.	294			
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	西部
地区	五十猛

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由									

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								計画期間外
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2040年度以降に、第1班と統合、第3班は廃止を検討する。	目標未達成（取組中断）	現地にて必要規模建替えを検討（統合なし）
	2025年度 個別計画の見直し 2040年度以降、現地必要規模建て替えを検討。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成13年
建物延面積	15.00㎡
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大屋分団 1 班格納庫		No.	295	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間	2045
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	中央
地区	大屋

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	現地にて必要規模建替えを検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								計画期間外
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2042年度～2045年度に、第2班と統合、現地での必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	第2班と統合、現地にて必要規模建替えを検討する。
	2025年度 個別計画の見直し 現地での必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成15年
建物延面積	28.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大屋分団2班格納庫		No.	296	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	中央
地区	大屋

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	改修工事を検討。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								2039年度改修 工事を検討
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2039 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2032年度～2036年度に、第1班と統合、又は現地での必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	第1班と統合又は現地での必要規模建替えを検討する。
	2025年度 個別計画の見直し 2039年度改修工事を検討。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成2年
建物延面積	16.38㎡
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久利分団 1 班格納庫		No.	297	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間	2045
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	中央
地区	久利

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2040年度以降 に現地にて必 要規模建替え を検討する。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2042年度～2045年度に、現地での必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	現地での必要規模建替えを検討する。
	2025年度 個別計画の見直し 2040年度以降に現地が必要規模建替えを検討。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成8年
建物延面積	21.60㎡
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久利分団 2 班格納庫		No.	298	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	中央
地区	久利

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済	処理完了
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								計画期間外
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	平成19年度、必要規模建替え済		計画どおり完了した。
第2期	2024年度		
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成19年
建物延面積	13.50 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大森分団1・2班格納庫		No.	299	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間	2045
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	高山
地区	大森

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2028年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2032年度～2036年度に、現地での必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	現地での必要規模建替えを検討する。
	2025年度 個別計画の見直し 2028年度に改修工事を検討。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成3年
建物延面積	17.46㎡
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	水上分団 1 班格納庫		No.	300	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間	2045
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	高山
地区	水上

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2040年度以降 に現地にて必 要規模建替え を検討する。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2042年度～2045年度に、現地での必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	現地での必要規模建替えを検討する。
	2025年度 個別計画の見直し 2040年度以降に現地が必要規模建替えを検討。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成17年
建物延面積	14.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	水上分団 2 班格納庫		No.	301	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間	2045
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	高山
地区	水上

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2040年度に改修工事を検討する。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2040 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2037年度～2041年度に、現地での必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	現地での必要規模建替えを検討する。
	2025年度 個別計画の見直し 2040年度改修工事を検討。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成8年
建物延面積	15.00㎡
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	祖式分団 1 班格納庫		No.	302
大分類	09行政系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	消防部総務課
ブロック	高山
地区	祖式

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	第2班と統合、建設地（現地含む）を含め必要規模建替えを検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2029 年度				←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2032年度～2036年度に、第2班と統合、建設地（現地含む）を含め必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	第2班と統合または建設地（現地含む）を含め必要規模建替えを検討する。
	2025年度 個別計画の見直し 2029年度に改修工事を実施。 第2班との統合を検討する。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成3年
建物延面積	27.30㎡
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	祖式分団 2 班格納庫		No.	303	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間	2045
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	高山
地区	祖式

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	第1班と統合、第2班は廃止を検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2029年度に第 1 班と統合、 当建物は2040 年度以降に解 体を検討。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2032年度～2036年度に、第1班と統合、第2班は廃止を検討する。	目標未達成（取組中）	第1班と統合、第2班は廃止を検討する。
	2025年度 個別計画の見直し 2029年度に第1班と統合、本建物は2040年度以降に解体を検討。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	22.75㎡
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大代分団 1 班格納庫		No.	304	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間	2045
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	高山
地区	大代

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	現地にて必要規模建替えを検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通 項目	庁内関係部課協議								2040年度以降 に現地にて必 要規模建替え を検討する。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2042年度～2045年度に、第2班と統合、又は現地にて必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	第2班と統合又は現地にて必要規模建替えを検討する。
	2025年度 個別計画の見直し 2040年度以降に現地にて必要規模建て替えを検討。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成14年
建物延面積	28.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大代分団 2 班格納庫		No.	305
大分類	09行政系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間
無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	高山
地区	大代

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	廃止を検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2028 年度				←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2022年度～2027年度に、第1班と統合、第2班は廃止を検討する。	目標未達成（取組中）	第1班と統合、第2班は廃止を検討する。
	2025年度 本建物は2028年度に解体を検討。（班縮小を検討）	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和61年
建物延面積	12.42㎡
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大代分団3班格納庫		No.	306	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	高山
地区	大代

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。2041年度に改修工事を検討。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2041年度に改修工事を検討する。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2041年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2027年度までに、第4班と統合、第3班は廃止を検討する。	目標未達成（取組中）	団員数を勘案し統合・廃止について再度検討。
	2025年度 個別計画の見直し 2041年度に改修工事を検討。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和62年
建物延面積	14.56㎡
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大代分団 4 班格納庫		No.	307	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	高山
地区	大代

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。2033年度に改修工事を検討。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2033年度に改修工事を検討する。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2033 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2027年度までに、第4班と統合、第3班は廃止を検討する。	目標未達成（取組中）	団員数を勘案し統合・廃止について再度検討。
	2025年度 個別計画の見直し 2033年度に改修工事を検討。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	14.56㎡
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津分団 1 班格納庫			No.	308			
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済	処理完了
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								計画期間外
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	平成26年度、必要規模建替え済		計画どおり完了した。
第2期	2024年度		
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成27年
建物延面積	26.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	レッド

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	湯里分団 1 班格納庫		No.	309	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間	2045
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	湯里

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	○現時点で検討不要(将来の検討)	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2027 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2032年度～2036年度に、移転単独整備、必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	2027年度に内装改修工事を検討している。
	2025年度 個別計画の見直し 2025年度にアスベストが確認されたため外壁の補修工事を実施。 2027年度に内装改修工事を実施。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	30.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	浸水地域

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 令和9年度に改修工事を検討している。

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	湯里分団 2 班格納庫・水防倉庫			No.	310			
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	湯里

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2040年度に改修工事を検討する。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2040 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2037年度～2041年度に、現地にて必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	改修工事を検討。
	2025年度 2040年度に改修工事を検討。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和60年
建物延面積	40.57㎡
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	湯里分団 3 班格納庫		No.	311	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間	2045
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	湯里

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	第4班と統合。 本建物は2040年度以降に解体を検討。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2040年度以降 に解体を検討 する。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2032年度～2036年度に、第4班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	第4班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討する。
	2025年度 個別計画の見直し 2032年度～2036年度に、第4班と統合を検討。 本建物は2040年度以降に解体を検討。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成5年
建物延面積	30.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	湯里分団 4 班格納庫		No.	312	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間	2045
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	湯里

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2032年度～2036年度に、第3班と統合、第4班は廃止を含め検討する。	目標未達成（取組中）	2028年度に改修工事を検討している。
	2025年度 2028年度に改修工事を検討。 2032年度～2036年度に、第3班と統合を検討。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和63年
建物延面積	45.68㎡
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 令和9年度に改修工事を検討している。

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	井田分団 1 班格納庫		No.	313	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	井田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。現地建替え。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2040年度以降 に現地にて必 要規模建替え を検討する。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2032年度～2036年度に、現地にて必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	現地にて必要規模建替えを検討する。
	2025年度 個別計画の見直し 2040年度以降に現地にて必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成2年
建物延面積	28.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	井田分団 2 班格納庫		No.	314	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間	2045
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	井田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	調整中
『該当する』を 選択した理由	2025年度に解体を実施。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2025 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2036年度までに、第3班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	2026年度解体の方針が決定した。
	2025年度 緊急性があるため2025年度に解体を実施。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	31.11㎡
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 令和7年度に解体設計を行い、令和8年度に解体予定である。

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	井田分団3班格納庫		No.	315	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間	2045
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	井田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。改修工事を検討。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2035年度に改修工事を検討する。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2035年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2032年度～2036年度に、第2班と統合、第3班は廃止を含め検討する。	目標未達成（取組中）	改修工事を検討。
	2025年度 2035年度に改修工事を検討する。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	30.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	井田分団 4 班格納庫		No.	316	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間	2045
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	井田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	第5班と統合又は、建設地を含め必要規模建替えを検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2040年度以降 に建設地（現 地含む）を含 め必要規模建 替えを検討す る。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度				←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2037年度～2041年度に、第5班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	第5班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討する。
	2025年度 2040年度以降に第5班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成7年
建物延面積	42.00㎡
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	井田分団 5 班格納庫		No.	317	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間	2045
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	井田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	第4班と統合、若しくは廃止を含め検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2040年度以降 に解体を検討 する。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2032年度～2036年度に、第4班と統合、第5班は廃止を含め検討する。	目標未達成（取組中）	第4班と統合、若しくは廃止を含め検討する。
	2025年度 個別計画の見直し 第4班と統合、 本建物は2040年度以降に解体を検討。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和63年
建物延面積	24.00㎡
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	福波分団 1 班格納庫		No.	318	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間	2045
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	福波

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								計画期間外
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	平成25年度、必要規模建替え済		計画どおり完了した。
第2期	2024年度		
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成25年
建物延面積	46.57㎡
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	浸水地域

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	福波分団3班格納庫		No.	319
大分類	09行政系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	福波

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2026年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 令和9年度までに、第4班と統合を含め検討する。	目標未達成（取組中）	第4班と統合、第3班は修繕工事を検討している。
	2025年度 2026年度改修工事に向け、アスベスト調査、設計を実施。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成17年
建物延面積	26.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 令和7年度改修の整備設計を行い、令和8年度に改修工事予定である。

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	福波分団 4 班格納庫		No.	320	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間	2045
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	温泉津
地区	福波

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	班を縮小し本建物は廃止を検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2026 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 令和9年度までに、第3班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	第3班と統合を検討する。
	2025年度 2025年度アスベスト調査を実施 アスベストが確認されたため緊急補修を実施予定 2029年度解体を検討	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和60年
建物延面積	25.42㎡
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	イエロー

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 第3班と統合、第4班は廃止を検討する。

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	仁万分団3班格納庫		No.	321	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済	処理完了
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								計画期間外
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	平成23年度、必要規模建替え済		計画どおり完了した。
第2期	2024年度		
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成24年
建物延面積	13.50 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	宅野分団 1・2・3 班格納庫		No.	322	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	仁摩
地区	宅野

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	現時点で検討不要(将来の検討)	合意済
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2025 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 令和9年度までに、現地にて必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	改修整備設計業務が完了した。
	2025年度 改修工事を実施。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和59年
建物延面積	35.00 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 令和6年度改修の整備設計を行い、令和7年度に改修予定である。

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大国分団1・3班格納庫		No.	323	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画		計画期間	2045	改定・見直し 時期	毎年
無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由			

担当部署名	消防部総務課
ブロック	仁摩
地区	大国

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								計画期間外
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	平成21年度、必要規模建替え済		計画どおり完了した。
第2期	2024年度		
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成22年
建物延面積	60.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大区分団 2 班格納庫		No.	324	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間	2045
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	仁摩
地区	大國

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	今後も消防団施設として維持する必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2035年度に改修工事を検討する。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
評価が達成される年度		2035 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2027年度までに、現地にて必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	個別計画の見直し
	2025年度 個別計画の見直し 2035年度に、改修工事を検討する。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和59年
建物延面積	19.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	馬路分団 1 班格納庫		No.	325	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間	2045
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	仁摩
地区	馬路

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	第3班と統合又は、建設地を含め必要規模建替えを検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2040年度以降に、第3班と統合、建設地(現地含む)を含め必要規模建替えを検討する。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度				←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2041年度までに、第3班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	個別計画の見直し
	2025年度 2040年度以降に建設地（現地含む）を含め必要規模建替えを検討。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成6年
建物延面積	19.37㎡
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	馬路分団 2 班格納庫		No.	326
大分類	09行政系施設			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	消防部総務課
ブロック	仁摩
地区	馬路

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	建設地（現地含め）を含め必要規模建替えを検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2040年度以降 に、建設地（現 地含む）を含め 必要規模建替え を検討する。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2022年度～2027年度に、他班と統合、建設地を含め必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	個別計画の見直し
	2025年度 2040年度以降に建設地（現地含む）を含め必要規模建替えを検討する。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	21.98㎡
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	馬路分団3班格納庫		No.	327	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間	2045
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	仁摩
地区	馬路

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	第1班と統合、第3班は廃止を含め検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2040年度以降 に解体を検討 する。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2037年度～2041年度に、第1班と統合、第3班は廃止を含め検討する。	目標未達成（取組中）	
	2025年度 第1班と統合、本建物は2040年度以降に解体を検討。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成7年
建物延面積	14.35㎡
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田水防倉庫		No.	328	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間	2045
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	開始前
『該当する』を 選択した理由	解体撤去。消防庁舎へ機能集約を検討する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2039年度に解体を検討する。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2039 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2032年度～2036年度に、消防庁舎へ機能集約し廃止を検討する。	目標未達成（取組中）	消防庁舎へ機能集約し廃止を検討する。
	2025年度 2039年度に解体を検討。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成5年
建物延面積	26.49 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】

※写真無し

(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久利水防倉庫		No.	329	
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名	大田市消防団施設個別施設計画	計画期間	2045
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	中央
地区	久利

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	④統合	開始前
『該当する』を 選択した理由	2040年度に解体を検討する。(資機材の集約について検討が必要)								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								2040年度に解体を検討する。
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2040 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	個別計画の作成検討		消防力の維持に重点を置きながら、更新計画を作成する。
第2期	2024年度 個別計画の見直し 2032年度～2036年度に、あり方について検討する。	目標未達成（取組中）	資器材の集約場所について検討する。
	2025年度 2040年度に解体を検討する。	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成2年
建物延面積	19.87㎡
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	林野火災資機材倉庫		No.	330	担当部署名	消防部総務課		
大分類	09行政系施設							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名			計画期間			改定・見直し 時期
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由	必要規模建替え 済み	

担当部署名	消防部総務課
ブロック	三瓶
地区	志学

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え 済	処理完了
『該当する』を 選択した理由	必要規模建替え済み								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	2019年度に庁舎建て替え工事を完了した。		予定どおり完了した。
第2期	2024年度		
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成2年
建物延面積	86.00 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	久手地区防災資機材地域備蓄施設			No.	331
大分類	09行政系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
	有	計画名			計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由

担当部署名	消防部総務課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	③地域移管 済	処理完了
『該当する』を 選択した理由	用途廃止し、久手原口自治会へ払下げ済み。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	令和3年度、用途廃止し原口自治会へ払下げ済み。		予定どおり完了した。
第2期	2024年度		
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成7年
建物延面積	9.90㎡
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	①大田市消防団設置条例 ②大田市消防団規則
設置(目的等)	①この条例は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第1項の規定に基づき、消防団の設置に関し必要な事項を定めるものとする。 ②この規則は、消防組織法(昭和22年法律第226号)第18条第2項及び第23条第2項の規定に基づき、消防団の組織、消防団員の階級及び消防団の運営等について定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



(2)収入・支出

内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説

収入	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料金収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							